

総目次 凡例

- この目録はインセクト1巻1号から30巻1号までの論文，解説，短報など全記事を掲載したが，一部の会報，雑録は省略した。
- 各記事の記載は次の順によった。
表題 著者名 巻(号)：頁一頁(年号)〔備考〕
著者名が3名までの時は全て記し，それ以上の時は筆頭著者他とした。
備考は表題だけで表わせない内容を簡単に補った。
- 対象とした生物又は形式によって次の各群に区分し，各群内では発行年次，頁の順で掲載した。

	頁
蝶 セセリチョウ科	1
アゲハチョウ科	1
シロチョウ科	2
シジミチョウ科	4
マダラチョウ科	7
タテハチョウ科	7
ジャノメチョウ科	9
二科以上に及ぶ蝶類	9
蛾	13
鞘翅目	15
蜻蛉目	19
膜翅目	22
直翅目	24
半翅目	25
双翅目	26
その他の昆虫	26
二目以上に及ぶもの	26
クモ	27
動物	27
採集紀行(二目以上)	28
解説・ガイドなど	29

セセリチョウ科

- イチモンジセセリの奇習 河村重行 1(1):2(1948)
ダイミョウセセリの飼育 山尾正義 1(5):15-16(1948)
イチモンジセセリの群飛 長谷川順一 7(1):13-14(1956)
栃木県の害虫 2 熊沢隆義 7(3):7-11(1956)〔イチモンジセセリの生態他〕
イチモンジセセリの群飛 補正 長谷川順一 8(1):16-17(1957)
7月下旬にチャバネセセリ採集 斎藤浩一 12(3):8(1961)
ホシチャバネセセリの出現期について 川俣貞夫 13(2):44(1963)
茨城県産蝶類の一種について 塩田正寛 13(2):44(1963)〔スジグロチャバネセセリ〕
茨城県のスジグロチャバネセセリ 福田正寛 15(1):4-5(1964)
明智平でダイミョウセセリ採集 福田信博 16(2・3):16-17(1966)
ヒメキマダラセセリの第1化 福田善明 18(1):19(1967)
コキマダラセセリの新産地 猪狩悦男 18(2):15(1968)
ホシチャバネセセリの新産地 土屋喜一 20(2):32(1969)
ホシチャバネセセリを採集 福田健 21(2):24(1970)
ホソバセセリの終見日の延長 新部公亮 24(1):11(1973)
チャバネセセリを日光で採集 福田善明 25(1):21(1974)
年一化のイチモンジセセリの採集記録 長谷川順一 26(1):36(1975)
オオチャバネセセリを6月上旬に採集 長谷川順一 26(1):36(1975)
栃木県産のセセリチョウ科に関する若干の知見 福田善明 26(2):6-8(1975)
イチモンジセセリの移動の観察 長谷川順一 26(2):9-11(1975)
セセリチョウの食草 長谷川順一 26(2):30(1975)
イチモンジセセリ異常型採集の記録 斎藤浩一 29(2):31(1978)
栃木県蝶類誌10 西山隆 30(1):19-20(1979)〔スジグロ・ヘリグロチャバネ(1)〕
ミヤマセセリの交尾について 青木好明 30(1):51(1979)

アゲハチョウ科

- クロアゲハの脱皮 増淵余一 1(5):4-6(1948)
ギフチョウの産卵に就て 前川弥之祐 2(1):9-11(1949)
観察帳の一片 増淵余一 2(1):25(1949)〔アゲハ、クロアゲハの習性〕
ギフチョウを訪ねて 前川弥之祐 2(2):24(1949)
ギフチョウ(成虫)の習性 前川弥之祐 2(3):17-18(1949)
栃木県北におけるアラスジアゲハの分布 加藤膳太 2(3):21(1949)
ミヤマカラスアゲハの記録 薄葉重 2(3):22(1949)
続・ギフチョウ(成虫)の習性 前川弥之祐 2(4):27(1949)
アラスジアゲハ大田原にて採集 藤田昌稔 2(4):29(1949)

- モンキアゲハ、栃木で採集 著者不詳 2(4):30(1949)
- クロアゲハの蛹に見られる頭部形態 阿久津喜作 6(2):45(1954)
- 栃木県にギフチョウ類はいないのか 田中正 7(1):9-12(1956)
- クロアゲハの蛹の頭部形態について 阿久津喜作 7(3):11(1956)
- クロアゲハの一生 桑野進 8(3・4):23-25(1957)
- アオスジアゲハの変った吸水動作 尾田啓一 8(3・4):42-43(1957)
- 風に乗るキアゲハ 斎藤浩一 10(1):8(1959)
- モンキアゲハを宇都宮で採集 斎藤正好 10(2):26(1959)
- オナガアゲハの異常型 斎藤浩一 10(2):29(1959)
- モンキアゲハ川治で採集 関口洋一 11(2):17-18(1960)
- 茨城県日立市のモンキアゲハ 塩田正寛 12(1):29-30(1961)
- モンキアゲハを宇都宮で目撃 絵面崇男 12(3):9(1961)
- 茨城のモンキアゲハについて 塩田正寛 13(3):5-8(1963)
- ウスバシロチョウの新産地 関口洋一 13(3):9(1963)〔奥日光外山沢〕
- 宇都宮におけるナガサキアゲハの記録についての結論 関口洋一 13(3):19(1963)
- ウスバシロチョウの産地について 浅沼恭久 15(2・3):15-16(1965)
- 蝶の世界(その1) 本野晃 16(2・3):6-8(1966)〔アゲハチョウ科の各種〕
- ジャコウアゲハの山地での記録 御厨正治 20(2):32(1969)〔日光市小倉山〕
- 日光における蝶の稀種記録 福田善明 22(2):27-28(1971)〔アオスジ・ジャコウ・モンキ〕
- 今市市でモンキアゲハ目撃 高田武夫 22(2):28(1971)
- モンキアゲハの記録 稲泉三丸 24(2):26(1973)
- モンキアゲハ本県に定着か 編集部 26(1):35(1975)
- モンキアゲハの幼虫発見さる 編集部 26(2):25-26(1975)
- 毘沙門山におけるモンキアゲハの目撃 岡田善朗 26(2):11(1975)
- 益子でモンキアゲハ採る 稲泉三丸 27(1):25(1976)
- モンキアゲハの採集と目撃について 森島啓司 28(1):30(1977)〔茂木, 益子〕
- 栃木県蝶類誌7 西山隆 29(1):10-19(1978)〔ミヤマカラスアゲハの生息地, 周年経過他〕
- 市貝町でモンキアゲハを多数採集および目撃 小森信之 29(1):43(1978)
- 栃木県におけるモンキアゲハ春型の記録 森島啓司 29(2):31-32(1978)〔茂木町〕
- モンキアゲハ亜高山帯に現わる 高橋滋・加藤仁・森島啓司 30(1):50(1979)〔大佐飛山〕

シロチョウ科

- キテフの飼育 片瀬隆司 1(4):11(1948)
- モンシロチョウの幼虫 薄葉重 2(1):11(1949)
- 越冬中(?)のキテフ採集 渡辺和久 2(2):2(1949)
- モンシロチョウの幼虫について 武田正之 2(2):23(1949)

- ヒメシロチョウの生態断片 藤田昌稔 2(4):18-20(1949)
- キチョウの越冬経過とその生態 武田正之 3(1):5,9-12(1950)
- ヤマキチョウとスジボソヤマキチョウの生活史 岡野磨瑳郎 4(2):1-3(1951)
- 本州産シロチョウ科の雄交尾器による分類 岡野磨瑳郎 7(3):12-14(1956)
- 年頭の随想 斎藤享二 8(1):22(1957)〔キチョウの活動〕
- モンシロチョウの大きさは幼虫の食種に関係あるか 関口洋一 8(3・4):4-6(1957)
- 来年はいつごろからモンシロチョウがとびだすか、しらべてみましょう 尾田啓一 8(3・4):40-41(1957)
- モンキチョウの異常型 浅野勝司 8(3・4):43-44(1957)〔前翅が白、後翅が黄色〕
- 札幌におけるモンキチョウの越冬について 長谷川順一 9(1):22-25(1958)
- モンシロチョウの初見日 斎藤浩一・伊沢幸一 9(1):27(1958)
- エゾスジグロシロチョウとヤマシロチョウ(仮称)の研究 中村和夫訳 9(2):8-11(1958)
- スジグロシロチョウ, ノウゼンハレンを食す 関口洋一 11(1):21(1960)
- モンキチョウ, カラマツに産卵 菅原照光 11(3):48(1960)
- モンキチョウの一型 長谷川順一 12(1):28(1961)〔後翅中室橙色紋欠損〕
- エゾスジグロシロチョウを高原山南麓で採集 関口洋一 12(2):11(1961)
- モンシロチョウ幼虫をノウゼンハレンから採集 絵面崇男 12(2):14-15(1961)
- 日光きりふりでヒメシロチョウを採集 菅原照光 12(2):29(1961)
- ヒメシロチョウの新産地 関口洋一 12(3):11(1961)
- 宇都宮市のエゾスジグロシロチョウについて 西山隆 13(1):18-20(1962)
- モンシロチョウにも電害 熊沢隆義 13(1):25(1962)
- 栃木県のエゾスジグロシロチョウの記録 西山隆 13(2):18-21(1963)
- 宇都宮市水道山でスジボソヤマキチョウを採集 関口洋一 13(3):9-10(1963)
- ツマキチョウを奥日光で採集 関口洋一 13(3):10(1963)
- スジグロシロチョウの異常発生記録 樋口弘道 13(3):10-11(1963)〔宇都宮, 2月15日〕
- ツマグロキチョウの異常型 関口洋一 13(3):16(1963)〔前翅先端の黒鱗を欠損〕
- エゾスジグロシロチョウの新産地 福田善明 14(2):13(1964)〔今市〕
- とても小さいキチョウ 浅沼恭久 14(2):14(1964)〔開張16mm〕
- ツマキチョウの高地における記録 渡辺孝 15(2・3):15(1965)〔日光逆川〕
- スジグロシロチョウとエゾスジグロシロチョウの発香鱗の検討 長谷川順一 18(1):4-7(1967)
- スジボソヤマキチョウの里下り 土屋喜一 21(2):23(1970)
- 1973年2月15日にモンシロチョウを発見 合田健二・日向博美 24(1):21(1973)
- 羽化前の黄化した蛹に集まる雄キチョウの観察 久保田栄 25(1):10-11(1974)
- 宇都宮市におけるモンシロチョウの初見日について 師尾武 25(1):21(1974)
- 蛹に集まる雄キチョウを撮影する 長谷川順一 25(2):14-16(1974)
- 栃木県蝶類誌1 西山隆 26(1):4-8(1975)〔モンキチョウ〕
- スジグロシロチョウ蛹の休眠期間と成虫の斑紋 長谷川順一 26(1):9-11(1975)

- 蛹に集まる雄キチョウの追加記録 新海彰男 26(1):38(1975)
 ヒメシロチョウの食草の一知見 山村剛 26(2):29(1975)〔カラスノエンドウ〕
 モンシロチョウの雌雄型を採集 長谷川順一 26(2):31(1975)
 栃木県におけるスジグロシロチョウとエゾスジグロシロチョウ 長谷川順一 栃木県の蝶 114-123(1975)
 スジボソヤマキチョウの休眠に関する生理・生態について 福田善明 栃木県の蝶 124-127(1975)
 シロチョウ科2種の鱗粉貧欠症 関口洋一 27(1):24(1976)
 モンキチョウの横倒し姿勢 長谷川順一 27(1):25(1976)
 上河内でスジボソヤマキを目撃 福田俊明 27(1):26(1976)
 真夏に羽化したモンシロチョウの大きさと食草 長谷川順一 28(1):4-6(1977)
 栃木県蝶類誌8 西山隆 29(1):20-23(1978)〔モンキチョウの発生過程他〕

シジミチョウ科

- 越冬中のウラギンシジミ採集 薄葉重 1(1):1-2(1948)
 ヲナガシジミの斑紋に就いて 河村シゲユキ 2(2):9(1949)
 ミヤマカラスシジミの記録 片瀬隆司 2(3):21(1949)〔大田原市〕
 カラスシジミの記録 片瀬隆司 2(3):21(1949)〔大田原市〕
 クロシジミの斑紋 木暮翠 2(4):23(1949)
 ハンノキとゼフィルス 薄葉重 2(4):29(1949)
 ウラナミシジミの産卵植物 片瀬隆司 2(4):29(1949)〔アズキ〕
 樹液に集るシジミチョウ 首藤康夫 2(5):23(1949)
 クロシジミの生活史について 片瀬隆司 2(5):24(1949)
 オオミドリシジミの奇習 岡野磨瑩郎 3(1):29(1950)
 奥塩原の旧ゼフィルス属について 武田正之 5(1):3-4(1952?)
 故湯浅博士がクロシジミを採られるまで 田中正 7(1):8(1956)〔長野県〕
 シルヴィアシジミとミヤマシジミについて 阿久津喜作 7(2):4(1956)
 ミヤマカラスシジミ宇都宮で採集 関口洋一 8(3・4):41-42(1957)
 日光でオオゴマシジミを採る 熊沢隆義 8(3・4):42(1957)
 ミヤマカラスシジミの卵について 浅野勝司 9(1):19-20(1958)
 リンゴの幼果を食うコツバメ 熊沢隆義 9(1):29(1958)
 イボタに生れたミドリシジミの卵 浅野勝司 9(1):29(1958)
 古峰ヶ原の蝶3題 関口洋一 9(2):27-28(1958)〔ダイセン, ウラキン, ムモンアカ〕
 フジミドリシジミの採集記録 下司昌一 9(2):28(1958)〔那須〕
 宇都宮にダイセンシジミ産す 関口洋一 9(3):38(1958)〔ミズキ科〕
 八丁の湯でオオゴマシジミ採集 藤田昌弘 9(3):39(1958)
 ヤマトシジミの生態 絵面崇男 11(1):16-20(1960)
 ルリシジミの食草記録 関口洋一 11(1):20(1960)

- ミズキを食ったトラフシジミ 関口洋一 11(2):18(1960)
- 蝶分布考 長谷川順一 11(3):31-36(1960)〔ヒメシジミとミヤマシジミ〕
- 宇都宮市のウラクロシジミの記録 長谷川順一 12(1):24-27(1961)
- トラフシジミの擬産卵 関口洋一 12(1):31(1961)
- ムラサキシジミを古峰ケ原で採集 斎藤浩一 12(2):12(1961)
- ミヤマシジミを江曾島町で採集 斎藤浩一 12(2):12(1961)
- 日光戦場ケ原でヤマトシジミ採集 関口洋一 12(2):12-13(1961)
- ウラナミシジミの早期採集記録 長谷川順一 12(2):15-16(1961)
- ルリシジミ, ネナシカズラの花を食す 清極幸保 12(2):19(1961)
- 県内におけるシジミチョウ科数種の分布記録 関口洋一 12(2):27-28(1961)
- 明智平の Zephyrus 樋口弘道 12(2):28-29(1961)
- Zephyrus の分布二題 樋口弘道 12(2):29(1961)〔アイノ, ジョウザン〕
- ウラギンシジミ成虫♂の腹部にある体毛の運動について 西山隆 12(2):30(1961)
- スギタニルリシジミの新産地 関口洋一 13(1):21(1962)〔栗山村〕
- カラスシジミの新産地 田中正広 13(1):21(1962)〔古峯ケ原〕
- ツバメシジミを那須岳山頂付近で採集 関口洋一 13(1):22(1962)
- オオゴマシジミを奥日光で採集 菅嶋憲保 13(2):21(1963)
- スギタニルリシジミの新産地 樋口弘道 13(2):45(1963)〔塩原〕
- 那須のハヤシミドリについて 樋口弘道・渡辺一 13(3):11(1963)
- 川俣の Zephyrus 類2種 樋口弘道 13(3):12(1963)〔オナガ, ウラクロ〕
- ハヤシミドリシジミ鳥羽の湯で採集 渡辺一 13(3):12(1963)
- スギタニルリシジミの新産地 下司昌一・樋口弘道 13(3):12-13(1963)〔川俣〕
- スギタニルリシジミ鬼怒川温泉で目撃 樋口弘道 13(3):13(1963)
- ベニシジミ誘蛾灯に飛来 田中正 13(3):13(1963)
- コツバメ採集の1例 塩田正寛 13(3):13-14(1963)〔八幡平〕
- 日光におけるシジミチョウ科の分布記録 福田善明 14(2):12-13(1964)
- 栃木県塩原地方から採集されるヒメシジミの大型個体について 浅野勝司 15(1):1-3(1964)
- 日光でウラゴマダランシジミ再採集 福田善明 15(1):12(1964)
- 日光のシジミチョウ科の分布記録 福田善明 15(2・3):13-14(1965)
- フジミドリシジミの新産地について 樋口弘道 15(2・3):14(1965)〔奥鬼怒〕
- クロシジミの終見日について 小倉康夫 15(2・3):15(1965)〔11月1日〕
- ミヤマシジミの新産地 福田信博 16(2・3):17(1966)
- オナガシジミの新産地 高橋滋 17(2・3):21(1966)〔小休戸〕
- ミズナラでウラムスツシジミの卵を採集 高橋滋 17(2・3):21(1966)
- 日光におけるウラゴマダランシジミの分布 高橋滋 17(2・3):21(1966)
- フジミドリシジミの新産地 猪狩悦男 18(2):15(1968)〔日光〕

スギタニルリシジミの新産地 高橋滋 20(2):32(1969)〔土呂部〕
ウラミスジシジミを古賀志で採集 師尾武 21(2):23(1970)
那須で2種のみドリシジミの生息を確認 福田善明 22(2):27-28(1971)〔ウラジロ, ハヤシ〕
奈良部山でジョウザンミドリの卵を採集 大塚俊彦 23(1):10(1972)
湯西川でオオゴマシジミ採集 大塚俊彦 23(2):31(1972)
庚申山においてスギタニルリシジミを採る 堀江一己 23(2):31(1972)
塩原新湯産のミヤマカラスシジミについて 新部公亮 24(1):1-3(1973)
イワカワシジミの共食い 福田善明 24(1):15-18(1973)
6月にウラギンシジミを採集 新海彰男 24(2):26(1973)
マンサクに産み着けられたフジミドリの卵 日向博美 24(2):26(1973)
雪渓上のアカシジミ 赤羽トモ子 24(2):26(1973)
ゼフィルス類の冬期卵採集について 日向博美 25(2):17-18(1974)
那須八幡でハヤシミドリ, ウスイロオナガシジミ 新海彰男 25(2):23-24(1974)
西那須野町でムモンアカシジミ 山村剛 25(2):24(1974)
虫の土土, 虫の世木を捕える? 中島悦雄 26(1):32(1975)〔蛙卵に蝶(スギタニ)が付着〕
湯元で目撃したゴイシシジミ 新海彰男 26(1):39(1975)
ウラゴマダラシジミ青色テープに飛来 藤井満 26(2):29(1975)
ウラナミアカシジミの雌雄型を採集 山村剛 26(2):31(1975)
栃木県蝶類誌3 西山隆 27(1):1-2(1976)〔クロミドリシジミ〕
ミドリシジミ幼虫の生命表 赤羽トモ子・早川洋子・海老根智子 27(1):3-8(1976)
特異なとまり方をするベニシジミ 西山隆 27(1):8(1976)
クロミドリシジミの観察 宮本竜夫 27(2):16-20(1976)
宇都宮市鶴田沼のみドリシジミ族について 師尾武 27(2):7-15(1976)
栃木県蝶類誌5 西山隆 28(1):1-3(1977)〔ウラナミシジミの1976年発生状況〕
奥会津博士山とその周辺のみマダラルリツバメ 角田伊一 28(1):7-9(1977)
ミズイロオナガシジミの室内採卵に成功 桜井浩 28(1):27-28(1977)
ベニシジミの生活 桜井浩 28(2):33-34(1978)
アカシジミ類の観察記録 小坂公之 29(1):42(1978)
鶴田沼でウラゴマダラシジミを採集 松本恭明 29(1):44(1978)
ウラミスジシジミ灯火に飛来 落合和泉 29(1):44(1978)
大平山でウラキンシジミを採る 稲葉博由 29(2):32(1978)
古賀志山地でウラミスジシジミを採集 師尾武 29(2):32(1978)
ウラゴマダラシジミ, オカトラノオへの訪花 桜井浩 29(2):34(1978)
出流でトチノキ発見 青木好明 30(1):50(1979)
1977年にウラナミシジミ小山市で発生 青木好明 30(1):51(1979)
フジミドリシジミの記録 宮本竜夫 30(1):51(1978)〔栗山村〕

マダラチョウ科

- アサギマダラの飛翔 阿久津喜作 8(2):15(1957)
市貝町でアサギマダラ採集 小森信之 29(1):43(1978)

タテハチョウ科

- フタスジチョウの奇習 薄葉重 1(1):1(1948)
オホムラサキの越冬状態をさぐる 八木沢膳太 1(1):6(1948)
キベリタテハを都内で採集 河村重行 1(1):9(1948)
オームラサキの幼虫訪問 増淵余一 1(1):9(1948)
キタテハの産卵 長倉洋平 1(3):3(1948)
オームラサキの幼虫 藤田昌稔 1(3):8(1948)
続・オームラサキの幼虫訪問 増淵余一 1(3):21(1948)
スミナガシ・蓑沢で採集 薄葉久 1(3):23(1948)
オオムラサキの幼虫飼育の諸兄へ 増淵余一 2(2):21(1949)
ゴマダラチョウの飼育 薄葉久 2(3):21(1949)
ミスジチョウの飼育 筆者不詳 2(3):22(1949)
オームラサキの生態寸記 増淵余一 2(4):11-13(1949)
樹液に飛来したオームラサキと時間との関係 武田正之 2(4):13(1949)
スミナガシの静止時における翅の状態 薄葉久 2(4):15(1949)
サカハチチョウのキロク 片瀬隆司 2(4):17(1949)
クヂャクチョウ親圃(大田原)にて採集 増淵余一 2(5):12(1949)
オーウラギンスジヒョウモンの産卵に就て 増淵余一 2(5):13-14(1949)
ヒメタテハの老熟幼虫, 初令幼虫を食す? 山尾義豊 2(5):14(1949)
オオムラサキの雌雄型 山田三郎 3(1):8(1950)〔茨城県〕
コムラサキ越冬の1例 山尾正義 3(1):13(1950)
ヒョウモンチョウ3種の成虫飼育と産卵 阿久津喜作 4(1):22-23(1951)
オオイテモンジ 増淵余一 6(2):46(1954)〔光徳〕
富士山頂にてギンボシヒョウモンを採集 斎藤享二 8(1):22(1957)
キベリタテハの越冬個体を7月末に採集 熊沢隆義 8(3・4):42(1957)
ヒオドンチョウの産卵 浅野勝司 9(1):28-29(1958)
サカハチチョウ古賀志山に産す 関口洋一 9(2):27(1958)
栃木県のクロコムラサキについて 西山隆 9(3):11-15(1958)
福島県白河市で採集されたりゅうきゅうムラサキについて 白水隆 10(2):1-2(1959)
白河でりゅうきゅうムラサキ♀を採集 野口達也 10(2):2(1959)
飼育によるヒオドンチョウの矮少化 斎藤浩一 10(2):29-30(1959)
オオムラサキの越冬 五反田薫 12(1):12-15(1961)

クロコムラサキの新産地 尾田治徳 12(1):29(1961)〔小来川〕
 サカハチチョウの産卵について 斎藤浩一 12(1):30(1961)
 栃木県下のホシミスジとフタスジチョウの分布 長谷川順一 12(2):1-5(1961)
 宇都宮でツマグロヒョウモンを再採集 斎藤浩一 12(2):13-14(1961)
 ルリタテハ幼虫ウバユリを食す 関口洋一 12(2):15(1961)
 宇都宮におけるキベリタテハの記録(追加) 関口洋一 13(1):22(1962)
 エルタテハ, 燈火に飛来 関口洋一 13(1):23(1962)
 コミスジの終見日 関口洋一 13(2):45(1963)〔11月12日〕
 エルタテハの幼虫について 樋口弘道 13(3):14(1963)
 クロコムラサキの新産地 福田豊 15(1):12(1964)〔宇都宮市〕
 大田原でクロコムラサキ採集 小倉康夫 15(2・3):15(1965)
 シータテハとルリタテハの追跡行動の観察 塩田正寛 18(1):1-3(1967)
 ツマグロヒョウモンの雌(宇都宮市内で目撃) 田中正 19(2):6(1968)
 ミスジチョウを採集 黒子隆 20(2):32(1969)〔塩原〕
 メスグロヒョウモンの新産地 土屋喜一 21(2):23(1970)〔氏家町〕
 琉球から, こんにちわ 小山市でリュウキュウムラサキ採る 稲泉三丸 22(1):1(1971)
 アカタテハの生態 合田健二他 22(2):1-4(1971)
 古賀志山でサカハチチョウを採集 師尾武 22(2):28(1971)
 クロコムラサキの新産地 井上健・尾田治徳 23(1):10(1972)〔大田原, 鹿沼〕
 川俣にてヒョウモンチョウを採集 大塚俊彦 23(2):31(1972)
 クロコムラサキの記録 福田健 24(2):26(1973)〔宇都宮市〕
 光徳でミスジチョウを採集 新海彰男 24(2):26(1973)
 ホシミスジの新産地 新部公亮 24(2):27(1973)〔塩原〕
 栗谷沢ダムでサカハチチョウ 新海彰男 25(2):23(1974)
 アカタテハの食樹に関する一知見 高橋滋・日向博美 25(2):23(1974)〔アキノレ〕
 栃木県蝶類誌2 西山隆 26(2):1-5(1975)〔シータテハ〕
 宇都宮市花房町でシータテハを目撃 新海彰男 26(1):37(1975)
 シータテハの里下り 土屋喜一 26(2):28(1975)
 真夏8月に烏山でメスグロヒョウモンを採集 新海彰男 26(2):29(1975)
 栃木県蝶類誌4 西山隆 27(2):28-31(1976)〔ミスジ, ホシミスジ〕
 宇都宮市でクジャクチョウを採集 青木好明 28(1):5(1977)
 栃木市の蝶類, とくにキタテハの行動観察 桜井浩 28(1):6(1977)
 ミドリヒョウモンの採卵 師尾武 29(2):7-10(1978)
 栃木県蝶類誌9 西山隆 29(2):11-17(1978)〔アサマイチモンジの分布, 周年経過他〕
 ウラギンヒョウモンの異常型 山村剛 29(2):31(1978)〔黒化型〕
 蝶の観察記録 小坂公之 29(2):33(1978)〔オオウラギンミスジ, メグロヒョウモン〕

ヒョウモンチョウの新産地 高橋滋 29(2):32(1978)〔上三依〕
真岡市におけるオオムラサキ第1報——周年発生経過—— 山岸武 30(1):14-18(1979)

ジャノメチョウ科

ヒカゲテフの一習性 河村重行 1(2):8(1948)
ツマジロウラジャノメの記録 片瀬隆司 2(3):21(1949)〔塩原〕
ヒメウラナミジャノメ, カタバミに産卵 片瀬隆司 2(4):17(1949)
蛇目蝶科二種の習性 木暮翠 2(5):9(1949)
ジャノメチョウ科数種の観察レポート 山田泰三 2(5):22-23(1949)
キマダラヒカゲ青色螢光誘蛾灯に飛来 尾田治徳 3(1):23(1950)
本県に於けるジャノメチョウ科2種の分布について 阿久津喜作 7(2):7(1956)
栃木県における分布未記録の蝶について1 ベニヒカゲの分布可能性 浅野勝司 9(3):16-20(1958)
クロヒカゲモドキの新産地 関口洋一 12(2):14(1961)〔足尾町〕
ツマジロウラジャノメの新産地 関口洋一 13(1):21(1962)〔那須〕
キマダラヒカゲを10月下旬に採集 関口洋一 13(1):22-23(1962)
オオヒカゲの終見日 関口洋一 13(1):23(1962)〔9月25日〕
表日光のツマジロウラジャノメ発生回数について 樋口弘道 13(3):11(1963)
八丁湯でウラジャノメ採集 福田善明 15(2・3):14(1965)
クロヒカゲモドキの新産地 高橋滋 20(2):32(1969)〔足尾町〕
ジャノメチョウ科の異属配偶行動の一例 大塚俊彦 23(2):31(1972)〔コジャノメ・クロヒカゲ〕
足尾町銀山平でクロヒカゲモドキ再採集 高橋滋 24(1):11(1973)
ウスイロコノマチョウの自然状態での食草 福田善明 25(1):22(1974)
宇都宮市水道山におけるコジャノメの増加 長谷川順一 26(1):36(1975)
栃木県のキマダラヒカゲ属の分布について 師尾武 栃木県の蝶:110-113(1975)

二科以上に及ぶ蝶類

早春の蝶類採集の手引 加藤膳太 1(2):7(1948)
大田原付近の蝶 片瀬隆司 1(4):14-15(1948)
大田原付近の珍蝶 藤田昌稔 1(4):16(1948)
大田原を中心とする栃木県産蝶類目録 河村重行 1(4):21-25(1948)〔81種〕
群馬県勢田郡産蝶類について 木暮翠 1(5):17-18(1948)
冬の蝶類観察記 武田正之 2(2):10-12(1949)
初見集・1 著者不詳 2(2):12(1949)
蝶類生態断片集 薄葉重・片瀬隆司・藤田昌稔 2(5):6-7(1949)
蝶類生態雑録 片瀬隆司 2(3):15-16(1949)
栃木県産蝶類目録(その1) 片瀬隆司 2(5):17-21(1949)〔47種〕

- 初見集 武田正之・片瀬隆司 3(1):4(1950)
- 栃木県産蝶類目録(その2) 片瀬隆司 3(1):17-23(1950)〔67種〕
- 赤城山に於ける蝶類垂直分布について 首藤康夫 3(1):27-28(1950)
- 栃木県産蝶類目録 ― 訂正・追加 ― 片瀬隆司 4(1):11-13(1951)〔-3+4〕
- 鬼怒沼産蝶類について 武田正之 4(2):19-27(1951)
- 蝶の天敵2・3について 川俣貞夫 5(1):7(1952?)
- 那須山の蝶類 片瀬隆司 5(1):9-10(1952?)
- 本県産蝶類の分布2・3 川俣貞夫 6(1):17-19(1954)
- 栃木県産蝶類雑記 増淵余一 6(1):19(1954)
- 栃木県産蝶類雑記 中村和夫 6(2):17-18(1954)
- 尾瀬ヶ原産蝶類について 浅野・長谷川・水野 6(3):7-9(1955)
- 宇都宮偶産蝶類 中村和夫 6(3):15-19(1955)
- 本県産蝶の分布2・3(追記) 川俣貞夫 6(3):19-21(1955)
- 栃木県産蝶の分布八題 宇都宮高校生物班 7(1):12-13(1956)
- 初めてチョウを研究する人の為に 田中正 7(3):1-6(1956)
- 蝶の思い出と那須の蝶 本野晃 7(3):17-19(1956)
- 栃木県のチョウ概説 田中正 7(3):19-21(1956)
- 栃木県産蝶類解説 田中正他 7(3):22-81(1956)〔118種〕
- 栃木県蝶採集地案内 八木沢膳太 7(3):81-97(1956)
- クロウメモドキ類を食う蝶の食性の由来 白水隆 8(1):1-3(1957)
- 観察4題 長谷川順一 8(1):9-12(1957)
- 宇都宮市産蝶の発生・分布4題 関口洋一 8(2):13(1957)
- 2, 3の蝶の発生期 浅野勝司 8(2):13-14(1957)
- 古賀志山の蝶類2種に就いて 西山隆 8(2):14-15(1957)
- 栃木県産蝶類解説追加・訂正1 浅野勝司 8(3・4):11-12(1957)
- 栃木県産蝶類解説改訂2(栃木県産ゼフィルス解説1) 浅野勝司 8(3・4):12-16(1957)
- 「さいしゅうにっき」から 熊沢幸枝 8(3・4):18-19(1957)
- こん虫さい集きろく 福田善明 8(3・4):19-21(1957)
- 湯西川温泉へ行く 上野順一郎 8(3・4):21-22(1957)
- チョウの採集手引, 宇都宮のチョウ 浅野勝司 8(3・4):33-39(1957)
- 宇都宮のチョウ 浅野勝司 9(1):14-16(1958)
- 蝶類の鱗粉形態による分類 稲泉三丸 9(2):1-5(1958)
- 日光市野口あたりのチョウ 福田善明 9(2):17-18(1958)
- 蝶類初見日 吉井太門 9(2):28(1958)
- 霧降牧場の Zephyrus とその他の蝶 樋口弘道 9(3):39(1958)
- 石橋町付近の蝶 伊藤幸一 9(3):39(1958)

宇都宮近辺の蝶類の好採集地(その1) 関口洋一 10(1):1-5(1959)
 不動前における蝶類初見日(1959) 斎藤浩一 10(1):7(1959)
 宇都宮近辺の蝶類の好採集地(その2) 関口洋一 10(2):10-16(1959)
 石橋町のチョウ5種について 伊沢幸一 10(2):26(1959)
 チョウ異常型2題 伊藤為義 10(2):28(1959)
 栃木県における2, 3の蝶の分布について 浅野勝司 10(3):11-15(1959)
 蝶の分布におよぼす食草分布の影響 長谷川順一 11(1):11-16(1960)
 表日光産蝶類雑記 樋口弘道 11(2):11-13(1960)
 日光における蝶類の分布 菅原照光 11(3):25-31(1960)
 日光戦場ヶ原周辺の蝶類分布 長谷川順一 12(1):4-11(1961)
 栃木県における新発見および未確認の蝶分布の可能性について 関口洋一 12(1):16-23(1961)
 ヤマトシジミとヒカゲチョウの産卵について 絵面崇男 12(2):13(1961)
 日光市野口付近の蝶 福田善明 12(2):23-25(1961)〔73種〕
 栃木県産蝶類2種の発生期 西山隆 12(2):26(1961)〔コキマダラセセリ, ヒメシジミ〕
 奥日光産の蝶の記録 塩田正寛 12(3):8(1961)
 宇都宮市内で採集されたキベリタテハとナガサキアゲハについて 関口洋一 12(3):9-10(1961)
 春の川俣の蝶 樋口弘道 13(3):9(1963)
 茨城県産蝶類2種について 塩田正寛 13(3):14-15(1963)
 栃木県の蝶 田中正他 14(1):1-56(1963)〔121種〕
 会津駒ヶ岳の蝶類 塩田正寛 14(2):2-5(1964)
 茨城県産蝶類4種について 塩田正寛 14(2):10-11(1964)
 蝶8種の交尾飛翔型 塩田正寛 14(2):11-12(1964)
 電とうに飛んで来たチョウ 浅沼恭久 14(2):13(1964)
 今市の新しい蝶2種 浅沼恭久 15(1):12(1964)〔ウラミスジ, クロコムラサキ〕
 今市市の蝶について 浅沼恭久 15(2・3):1-6(1965)〔61種〕
 石巻地方の蝶の好採集地 千葉真二・佐々木典雄 15(2・3):16(1965)
 日光戦場ヶ原の蝶相 菅原照光 16(1):1-5(1965)
 チョウの採集記録 高橋滋 16(1):8(1965)
 今市市長畑周辺の蝶 福田善明 16(2・3):15-16(1966)〔52種〕
 会津駒ヶ岳の蝶類の追加 田中正広 16(2・3):17(1966)
 南西諸島, とくに石垣島を中心とした蝶類 三井和幸 16(2・3):8-12(1966)
 北海道斜里岳において採集した蝶類の目録 塩田正寛 17(1):25-26(1966)
 高地での蝶の記録2種 鈴木誠一 17(2・3):21(1966)
 日光における蝶類の新産地 福田善明・福田信博 18(1):18-19(1967)
 茨城県の蝶相No.1 福田正寛 19(1):1-8(1968)〔105種〕
 蝶数種の採集記録 長谷川順一 19(1):8(1968)

- ラオスの蝶 本野晃・渋江範子 19(2):1-2(1968)
 北海道斜里岳の蝶数種 長谷川順一 19(2):6(1968)
 宇都宮市柳田における蝶の季節分布 合田健二 20(2):9-19(1969)
 蝶3種の採集記録 川俣裕明・黒子隆 21(1):32(1970)
 将来, 栃木県で発見できそうなチョウ 田中正 22(1):8-10(1971)
 奄美諸島蝶採集記 増沢克雄 22(1):11-12(1971)
 蝶のあれこれ 本野晃 22(1):37-41(1971)〔異常型〕
 ヘリグロチャバネセセリとインシガケチョウの新分布 福田善明 22(2):27(1971)
 台湾探蝶記 高橋滋 23(1):16-20(1972)
 宮城県石巻地方の蝶 桜井保之 23(1):21-32(1972)
 アメリカ大陸に蝶を求めて1 南アメリカ篇 日向博美 23(2):1-4(1972)
 アメリカ合衆国の蝶(1) 福田信博 23(2):29-30(1972)
 アメリカ大陸に蝶を求めて(後編) 日向博美 24(1):12-14(1973)
 宇都宮市陽南地区の蝶の変遷 日向博美 24(2):22-25(1973)
 那須町小深堀蝶類採集記 長谷川順一 25(1):7-9(1974)
 明治時代の日光・塩原の蝶 日向博美 25(1):18-20(1974)〔39種〕
 数種の蝶の記録 井上健 25(1):22(1974)
 古賀志山の蝶 師尾武 25(2):1-8(1974)
 栃木県の蝶十数種の記録報告 新部公亮・飯村孝文 25(2):9-11(1974)
 蝶の矮小個体3種 新海彰男 25(2):23(1974)
 県北における蝶の採集記録 藤井満 25(2):24(1974)
 高原山南麓・鳥羽方面の蝶相 土屋喜一 26(1):1-3(1975)〔46種〕
 県北における蝶数種の記録 藤井満 26(1):37(1975)
 県北の蝶数種の記録 山村剛 26(1):37(1975)
 栗谷沢でのスジボソヤマキチョウ・シータテハ・キベリタテハの記録 新海彰男 26(1):38(1975)
 西那須野町の蝶類(追加) 山村剛 26(2):26-27(1975)
 西那須野町の蝶数種の記録 青木利之 26(2):27(1975)
 県北の蝶数種の採集記録 井上健 26(2):28(1975)
 温泉を吸いに来る蝶 新海彰男 26(2):28(1975)〔4種〕
 蝶の交尾二題 長谷川順一 26(2):30(1975)
 蝶2種の異常型 藤井満 26(2):32(1975)〔モンキチョウ, キタテハ〕
 栃木県の蝶(総論) 本野晃 栃木県の蝶 5-7(1975)
 栃木県の蝶(各論) 西山隆他 栃木県の蝶 8-108(1975)〔122種〕
 蝶の産卵について二・三の知見 中島悦雄 栃木県の蝶 128-130(1975)
 蝶の交尾 熊沢隆義 栃木県の蝶 131-147(1975)
 蝶類による自然度の判定 — 栃木県蝶類定点調査結果から — 栃木県の蝶 148-160(1975)

県北の蝶相 加藤仁 栃木県の蝶 161-181(1975)
 氏家町上阿久津周辺のチョウ相 土屋喜一 栃木県の蝶 182-185(1975)
 古賀志山地の蝶 師尾武 栃木県の蝶 186-190(1975)
 石橋町周辺の蝶 津野田猛・高山登 栃木県の蝶：191-194(1975)
 栃木県産蝶類にみられる異常型 西山隆・日向博美 栃木県の蝶 195-202(1975)〔29種〕
 栃木県の蝶2種増える。 稲泉三丸 27(1) 表紙裏 (1976)〔クロミドリ、チャマダラ〕
 奄美群島の蝶類に関するデータ 関口洋一 27(1):9-15(1976)
 蝶の生態についての若干の観察 小坂公之 27(2):27(1976)
 県北の蝶数種の記録 藤井満 28(1):27(1977)
 日光小倉山の蝶3種の記録 御厨正治 28(2):5(1978)
 栃木県蝶類誌6 西山隆 28(2):6-12(1978)〔1977年末の高温下の蝶類の発生異常〕
 イランの蝶 本野晃 28(2):13-16(1978)
 蝶数種の観察・採集・目撃記録 青木好明 28(2):16(1978)
 アオバセセリとスギタニルリシジミの記録 宮本竜夫 28(2):24(1978)
 第2回(1976年)蝶類定点調査結果 稲泉三丸 29(1):5-9(1978)
 蝶数種の記録 青木好明 29(1):43-44(1978)
 第3回(1978年)蝶類定点調査結果 稲泉三丸 30(1):21-25(1979)
 蝶の移動と集団越冬 本野晃 30(1):26-28(1979)

蛾

モンクロキイロエダシヤクの記録 片瀬隆司 1(1):8(1948)〔白根山〕
 各類の特徴 藤田昌稔 1(1):9-11(1948)〔3科のガ〕
 シモフリスズメの生態 長倉洋平 1(2):2-3(1948)
 不明「ガ」の幼虫 長倉洋平 1(3):22(1948)
 オオミズアオ成虫越冬 増淵余一 1(3):23(1948)
 キオビセセリモドキの記録 片瀬隆司 2(3):22(1949)〔旧那須郡狩野村〕
 モンクロキイロナミシヤクの記録 片瀬隆司 2(3):22(1949)〔前白根〕
 フジキオビの記録 片瀬隆司 2(3):22(1949)〔塩原〕
 天社蛾科雑録 岡野磨瑳郎 2(4):10(1949)
 ハマオモトヨトウについて 乾風登 2(4):16-17(1949)
 ギンモンズズメモドキ属について 岡部磨瑳郎 3(1):6-8(1950)
 栃木県産分布資料1 キオビセセリモドキ 増淵余一 3(1):28(1950)
 燈火に飛来する蛾 阿久津喜作 6(1):5-6(1954)〔大田原〕
 雑記 Y・M生 6(1):6(1954)〔蛾2種の記録〕
 栃木県産蛾類報告(I) 増淵余一 6(1):7(1954)〔ドクガ科23種〕
 栃木県産蛾類報告(II) 増淵余一 6(2):19-33(1954)〔シャチホコガ科67種〕

- アケビコノハの異常発生 阿久津喜作 6(2):42(1954)
- 南方系大形ヤガの一種クロモンシタバ宇都宮で採集す 田中正 6(3):21(1955)
- 栃木県産蛾類(I) 岡野麿瑛郎 6(3):22-28(1955)〔塩原産79種〕
- ドクガを防ぐには 田中正 7(1):3(1956)
- ミツボシキリガ2月に採集す 小平新一 7(2):3(1956)
- 栃木県の害虫 熊沢隆義 7(2):8-10(1956)〔ニカメイガ〕
- 栃木県産のヤマムユ科 田中正 7(2):11(1956)〔7種〕
- 栃木県産シャチホコガ科 田中正 8(2):1-5(1957)〔55種〕
- ミツモンケンモンについて 田中正 8(2):16-17(1957)〔宇都宮〕
- オオミズアオとオナガミズアオ 田中正 8(2):17(1957)
- クロモンドクガ人を刺す 田中正 8(2):17-18(1957)
- リンゴの果実を害するヤガ類 熊沢隆義・尾田啓一 8(3・4):11(1957)
- ガの採集を始めよう 田中正 8(3・4):31-32(1957)
- キオビセセリモドキ, 塩原に産す 浅野勝司 8(3・4):42(1957)
- 落ちた桃に集まるヤガたち 熊沢隆義・尾田啓一 8(3・4):43(1957)
- 栃木県産 *Catocalinae* について 五反田薫 9(1):17-19(1958)〔12種〕
- モモノゴマダラメイガ幼虫, フジの莢内で越冬 田中正 9(1):30(1958)
- 宇都宮のメイガ科目録 関口洋一 9(2):12-15(1958)〔90種〕
- ベニスズメ, マムシグサを食う 田中正 9(2):28(1958)
- 佐野市の人家に毒毛虫が大発生 田中正 10(2):19-20(1959)〔ヤネホソバ〕
- 蛾類2種の記録 雨宮信子 11(1):21(1960)〔ヨトウ2種〕
- 未発見だったフチグロトゲエダシヤクの♀ついに宇都宮で発見 田中正 12(1):1-3(1961)
- ガの穴アキ型 関口洋一 12(1):31(1961)〔シロフフユシヤク〕
- コシロシタバの高地における記録 樋口弘道 12(2):16(1961)〔明智平〕
- ミツモンケンモンを宇都宮中心部で採集 関口洋一 12(2):16-17(1961)
- 日光植物園で採集されたシヤクガ 五反田薫 12(2):17(1961)〔37種〕
- アメリカシロヒトリ宇都宮に発生 田中正 12(2):18(1961)
- 栃木県 *Catocala* 属に関する知見の追加 落合和泉 12(3):6-7(1961)〔14種〕
- ヤマトスジアオリンガの発音 関口洋一 13(1):23(1962)
- 栃木県産の蛾類(1) ヤガ科ウワバ亜科 落合和泉 13(2):15(1963)
- 栃木県産シャチホコガ科の追加種 落合和泉 13(3):1-4(1963)〔40種〕
- 特記すべき宇都宮大学産のガ数種 田中正 13(3):15-16(1963)
- 栃木県の蛾類(2) ヤガ科クルマアツバ亜科 落合和泉 15(1):5-7(1964)〔36種〕
- 宇都宮市におけるアメリカシロヒトリの侵入と分散状況 田中正 16(1):5-8(1965)
- カバシタムクゲエダシヤク表日本から初記録 関口洋一 16(1):16(1965)〔宇都宮市〕
- ヨコズナトモエ石巻市で採集 桜谷保之 16(1):16(1965)

- 生活史の不明のガを研究しよう 田中正 16(2・3):20(1966)
- 栃木県産の蛾類(3) ヤガ科キノカワガ亜科 17(2・3):22-23(1966)〔18種〕
- ミツモンケンモンの新しい採集地 落合和泉 17(2・3):23-24(1966)〔大平町〕
- 栃木県の *Catocala* 属の追加 17(2・3):24(1966)〔4種〕
- シモフリズメの幼虫ツゲを食う 田中正 20(2):33(1969)
- エゾヨツメを採集 福田健 21(2):23-24(1970)〔徳次郎〕
- 蛾の灯火飛来に関する統計的研究 (1) — 飛来種数の季節的変遷の表わし方について — 落合和泉 22(1):27-36(1971)
- 栃木県産シャチホコガの追加記録 落合和泉 23(1):10-11(1972)〔計78種〕
- 宮城県石巻市のガ類(1) 桜谷保之 23(2):5-23(1972)〔270種〕
- 栃木県の蛾類(4) 落合和泉 23(2):24-28(1972)〔ドクガ科, カレハガ科〕
- 足利北部における蛾数種 堀江一己 23(2):31-32(1972)〔6種〕
- 足尾庚申山における *Catocala* の記録 堀江一己 23(2):32(1972)〔7種〕
- 栃木県産シャチホコガ科の追加記録 大塚俊彦 23(2):33(1972)〔7種〕
- 栃木県におけるケンモンキシタバの記録 堀江一己 24(1):21(1973)〔湯西川〕
- 宮城県石巻市のガ類(2) 桜谷保之 24(2):1-18(1973)〔269種〕
- 大平町におけるアカスジアオリングとアオスジアオリングについて 落合和泉 24(2):19-21(1973)
- いもむしの歯ざしり 宮崎昌久 25(1):22-23(1974)〔ベニチランコヤガ〕
- ゴマシオキシタバの宇都宮での記録 久保田栄 25(2):24(1974)
- 栃木県におけるシャチホコガ科の追加記録 落合和泉 26(2):32(1975)〔5種〕
- タツタカモクメシャチホコの本県における追加記録 川俣貞夫 26(2):32(1975)〔藤原町〕
- 栃木県の蛾類(5) 落合和泉 26(2):19-24(1975)〔コヤガ亜科51種〕
- 栃木県におけるシャチホコガ科の記録 堀江一己 26(1):29(1975)〔2種〕
- 栃木県の *Catocala* 22種となる 落合和泉・川俣貞夫 26(1):28-29(1975)
- 多気山の蛾 久保田栄 26(1):12-27(1975)〔441種〕
- 栃木県におけるシロシャチホコとバイバラシロシャチホコについて 落合和泉 29(1):41(1978)

鞘翅目

- 塩原でヘリグロベニカミキリ採集 増淵余一 1(3):20(1948)
- ヤナギハムシとドロノキハムシとの交尾 薄葉重 1(3):23(1948)
- カミキリムシ類5種の産地 著者不詳 2(1):28(1949)
- ハギツルクビオトシブミ成虫越冬 藤田昌稔 2(1):30(1949)
- 栃木県産昆虫目録Ⅲの1 加藤膳太 2(2):3-9(1949)〔163種〕
- 栃木県産昆虫目録Ⅲの2 加藤膳太 2(3):3-8(1949)〔133種〕
- ルリカミキリの大発生 武田正之 2(3):16(1949)
- キオピナガクチキムシの記録 薄葉重 2(3):22(1949)

- アオマダラタマムシの記録 田中栄一 2(3):22(1949)
- 栃木県産昆虫目録 IIIの3 加藤磨太 2(4):3-9(1949)〔139種〕
- ウスイロトラカミキリの食性 薄葉久 2(4):15(1949)
- 仁丹とゴミムシダマシ 青木忠雄 2(5):3(1949)
- キンヘリタマムシ那須にて採集 田中栄一 2(5):11(1949)
- キンヘリタマの近似種の分布資料 蔵田驥一 2(5):24(1949)
- オオセンチコガネの分布資料 山田三郎 3(1):16(1950)
- 栃木県産分布資料2 キジマトラカミキリ, クスベニカミキリ 増淵余一 3(1):29(1950)
- 本県産甲虫類分布資料I 尾田治徳 4(2):18(1951)〔3種〕
- 栃木県産甲虫類分布資料II 尾田治徳 4(2):27-28(1951)〔7種〕
- 燈火飛来の歩行虫覚え書 宇佐美寛 5(1):1-3(1952?)〔ゴミムシの走光性〕
- カタビロハムシ成虫に関する一知見(予報) 尾田治徳 6(1):1-4(1954)
- 栃木県産甲虫類分布資料III 尾田治徳 6(2):35-38(1954)
- ガムシの畸型 尾田治徳 6(2):43-44(1954)
- 甲虫二題 阿久津喜作 6(3):3-4(1955)〔アラメハナカミキリとオオマオゾウムシ〕
- 列車内でヨツボシフジハムシを採集 尾田治徳 7(2):5(1956)
- 甲虫二題 阿久津喜作 7(2):12(1956)〔マルガタゴミムシとマイマイカブリ〕
- エゾカタビロオサムシ 誘蛾灯に飛来 阿久津喜作 8(2):20(1957)
- ルリクワガタ日光で採集 田中正 8(2):20(1957)
- ヒメカンショコガネの大発生 田中正 8(2):20(1957)〔宇都宮〕
- クビアカルリヒラタカミキリの採集記録 田中正 8(2):21(1957)
- エンマムシモドキを奥日光で採集 田中正 8(2):21(1957)
- 甲虫の種類とすみか 熊沢隆義 8(3・4):26-31(1957)
- 奥日光日光沢温泉付近の甲虫 尾田治徳 9(1):1-8(1958)
- チャイロホソヒラタカミキリの採集日記 尾田治徳 9(1):26(1958)
- カタツムリを食うマイカブリの観察 吉井太門 9(2):18-19(1958)
- 甲虫類の和名について(1) 尾田治徳 9(2):19-20(1958)
- キリノイボゾウ 田中正 9(2):29(1958)
- ノコギリクワガタとカブトムシの大きさの研究 田中均・田中正 9(3):20-22(1958)
- 日立の甲虫目録 山崎睦 9(3):30-32(1958)〔146種〕
- 日光産甲虫類覚え書 山田剛郎 9(3):40-42(1958)
- 第2次性徴による鞘翅目の雌雄区別法 尾田治徳 10(2):3-9(1959)
- 塩原産甲虫目録〔I〕 稲泉三丸 10(2):18-19(1959)〔ゴミムシ, コメツキ〕
- 那須岳採集記 稲泉三丸 10(2):20-24(1959)〔21種〕
- コブニジュウヤホシテントウの新産地 田中正 10(2):26-27(1959)〔県北3ヶ所〕
- カナブンの紫色型の多産地 田中正 10(2):29(1959)〔宇都宮〕

- 夜行性食肉甲虫類の生態 稲泉三丸 10(3):1-8(1959)〔鳥海山〕
- 僕の採集した甲虫について 音羽和紀 10(3):9-11(1959)
- 甲虫採集記録 稲泉三丸 11(1):21-22(1960)〔5種〕
- 栃木県甲虫記 尾田治徳 11(2):7-11(1960)〔6種〕
- 奥日光で珍しいカミキリムシ2種採集 稲泉三丸 11(2):13(1960)〔エゾトラ, ヨコヤマトラ〕
- 甲虫屋の手帳から〔I〕 稲泉三丸 11(2):14-15(1960)〔16種〕
- オサムシ属の越冬場所 稲泉三丸 11(3):2-15(1960)
- 甲虫屋の手帳から〔II〕 稲泉三丸 11(3):40-42(1960)〔26種〕
- 栃木県甲虫記〔II〕 尾田治徳 11(3):43-48(1960)〔7種〕
- 甲虫屋の手帳から〔III〕 稲泉三丸 12(2):16-18(1961)〔21種〕
- 奥鬼怒でジュウニキボシカミキリを採集 樋口弘道 12(2):18(1961)
- ヨコヤマトラカミキリを八幡(那須)で採集 樋口弘道 12(2):18(1961)
- アオカタビロオサムシ那須で採集 樋口弘道 12(2):19(1961)
- 栃木県甲虫記〔III〕 尾田治徳 12(2):19-22(1961)〔5種〕
- オサムシ分布調査報告第1報 吾妻山麓板谷峠のアオマイマイカブリについて 樋口弘道・斎藤浩一
・小嶋昭雄 12(3):1-3(1961)
- 板谷峠のオサムシ採集記 樋口弘道・斎藤浩一・小嶋昭雄 12(3):3-5(1961)
- 宮城県でキタマイマイカブリを採る 稲泉三丸・小嶋昭雄 13(1):24(1962)
- 1962年に話題になった昆虫(I) 田中正 13(2):14(1963)〔アオバアリガタハネカクシ〕
- 群馬県でアオマイマイカブリを採る 稲泉三丸 13(2):46(1963)
- 日光のルリクワガタについて 樋口弘道 13(2):46(1963)
- 県内産数種のカミキリムシ15種の記録(1) 関口洋一 13(3):17-18(1963)
- ノコギリクワガタの畸形 田中正 13(3):19(1963)
- 那須のハムシ類 大野正男 15(1):7-9(1964)〔40種〕
- ホソヒメクロオサムシの越冬場所 稲泉三丸 15(1):12(1964)〔ミズナラ倒木〕
- アカマダラコガネ雲巖寺で採集 渡辺一 15(1):12(1964)
- 栃木県産コメツキムシ科目録(英文)出版される 田中正 15(2・3):6(1965)〔稲泉著95種〕
- キベリカタビロハナカミキリを奥鬼怒で採集 樋口弘道 15(2・3):17(1965)
- 珍虫アカマダラセンチコガネの記録 稲泉三丸 16(1):8(1965)〔栗山〕
- 宇都宮市内でアオカタビロオサを採る 稲泉三丸 16(1):8(1965)
- クロナガコメツキを48年ぶりに本県から記録 稲泉三丸・京谷哲 16(2・3):17-18(1966)
- 栃木県のオサムシ 佐藤良和・浜村徹三 17(1):1-17(1966)〔13種〕
- 尾瀬でオオチャイロハナムグリ目撃 高嶋威男 17(2・3):25(1966)
- 首から足の生えたマイマイカブリ 稲泉三丸 18(1):18(1967)
- 鳥海山のホソヒメクロオサムシ 浜村徹三 18(1):20(1967)
- ムネスジダンドラコメツキの記録 稲泉三丸 18(2):15-16(1968)〔千手浜〕

- ヒメマイマイカブリとキタマイマイカブリの交雑実験 浜村徹三・大兼善三郎 19(2):3-5(1968)
- 甲虫採集記録 稲泉三丸 19(2):6-7(1968)
- ホソヒメクロオサムシの新産地 小倉康夫 19(2):7(1968)〔古峰ヶ原〕
- 栃木県におけるハムシ研究の手引 大野正男 20(2):1-8(1969)
- 甲虫3種の記録 稲泉三丸 20(2):33(1969)
- ハムシ数種の記録 稲泉三丸 20(2):33-34(1969)〔8種〕
- ジュウシホシツツハムシの記録 加藤仁 20(2):34-35(1969)〔佐久山〕
- ツヤハダクワガタを田沼町で採集 大川秀雄 20(2):35(1969)
- 栃木県から記録されたハムシ 稲泉三丸 21(1):12-24(1970)〔110種〕
- 冬季に採集したハムシ 稲泉三丸 21(1):32-33(1970)〔3種〕
- 栃木県産ハムシ科ニューレコード 加藤仁 21(2):11-16(1970)〔50種〕
- 1970年における栃木県のホタル生息状況 稲泉三丸・鈴木理喜夫 21(2):17-19(1970)
- ミヤマヒサゴメツキの新産地 大川秀雄 21(2):24-25(1970)〔田沼町〕
- 栃木県産ハムシ科追加 稲泉三丸 21(2):25-26(1970)〔22種〕
- 喜連川丘陵帯上に産するオオルリハムシの生活史 加藤仁 22(1):26(1971)
- ハムシ2題 福田健 22(1):42(1971)
- 栃木県北部産珍昆虫の発見史と現状(その1) 加藤仁 22(2):7-8(1971)
- 足利市産食糞性コガネムシ類 大川秀雄 22(2):12-15(1971)〔20種〕
- ハムシ科2種追加 福田健 22(2):29(1971)
- Molochus* の採集記録 大川秀雄 22(2):30(1971)〔コジマヒゲナガコバネカミキリ〕
- 足利市で得られたカミキリ数種 大川秀雄 22(2):30(1971)〔ヨコヤマトラ他4種〕
- 足尾方面の甲虫数種 大川秀雄 22(2):30-31(1971)
- キンボシハネカクシの記録 大川秀雄 22(2):31(1971)〔足利市〕
- ちっちゃいミヤマカミキリ 田中均 22(2):31(1971)〔2.9cm〕
- オオチャイロハナムグリ日光で 稲泉三丸 22(2):31(1971)
- 栃木県のタマムシ科の記録 加藤仁 23(1):11-12(1972)〔15種〕
- 数種類の甲虫の記録 尾田治徳 23(1):12-13(1972)
- ハムシ2種の記録 福田健 23(1):13(1972)〔クビボソハムシ類〕
- コバネカミキリ安蘇郡で採る 大川秀雄 23(1):13(1972)
- ミヤマハンミョウとニワハンミョウの垂直分布に関する知見 大川秀雄 23(1):14(1972)
- 光徳牧場10月の糞虫 大川秀雄 23(1):14(1972)〔4種〕
- アカイロニセハムシハナカミキリの足利市での記録 大川秀雄 23(2):34(1972)
- イタドリハムシの上翅斑紋について 福田健 23(2):34(1972)
- ハムシ科追加 稲泉三丸 23(2):34-35(1972)〔4種〕
- 栃木県産コガネムシ類目録(第1報) 加藤仁 24(1):4-11(1973)〔75種〕
- オニホソコバネカミキリの記録 大川秀雄 24(1):24(1973)〔塩谷郡〕

- カワアトキリゴミムシの採集記録 大川秀雄 24(1):24(1973)〔足利〕
 安蘇山塊におけるコルリクワガタの採集例 大川秀雄 24(1):24(1973)
 ミヤマカタビロオサムシを発見 田中正広 24(1):26(1973)〔北海道〕
 ヒゲジロホソコバネカミキリを採集 高橋滋 24(2):29(1973)〔栗山〕
 ヤツホシツツハムシの食草 福田健 24(2):30(1973)〔フジ〕
 セアカオサムシの記録 添野光一 25(1):24(1974)〔小山〕
 日光で採集したシデムシ 大川秀雄 25(1):24(1974)〔2種〕
 大量のヒゲフトハナムグリの採集例 添野光一 25(1):24(1974)
 カンポウトラカミキリ最近の記録 福島秀毅 25(2):26(1974)〔日光〕
 土上平における甲虫4種 菅井道雄 25(2):25-26(1974)
 栃木県のおサムシについて 小倉康夫 25(2):19-22(1974)〔13種〕
 樹液にきたシラホシカミキリ 宮本竜夫 25(2):16(1974)
 宇都宮市内におけるホタルの記録 宮本竜夫 25(2):16(1974)
 キタクロオサムシの冬虫夏草 稲泉三丸・添野光一 25(2):8(1974)〔筑波山〕
 安蘇山塊でオニクワガタを拾う 大川秀雄 26(1):40-41(1975)
 へリトゲゴブスジコガネの記録 添野光一 26(1):40(1975)
 8月に越冬状態のホソアカガネオサムシ 添野光一 26(1):40(1975)
 ナガチャコガネの黄昏飛翔 稲泉三丸 26(1):33-34(1975)
 ツマアカアシナガトビハムシの冬季記録 稲泉三丸 27(2):26(1976)
 フキサルハムシの食草について 福田健 27(2):31(1976)〔オオマツヨイグサ〕
 ハムシ科追加 福田健 27(2):31(1976)〔2種〕
 冬虫夏草の寄生を受けたアオオサムシ 大川秀雄 27(2):33(1976)〔足利〕
 越冬中のテントウムシの斑紋 熊沢隆義 28(1):22(1977)
 日光の甲虫採集昔話 熊沢隆義 28(1):23-26(1977)
 栃木県のカミキリムシの記録報告 宮本竜夫 28(2):17-24(1978)〔94種〕
 伊勢崎市におけるクチキマグソコガネの採集例 須田亨 28(2):12(1978)
 冬虫夏草の寄生したキアシヌレチゴミムシと本種の成虫越冬例 須田亨 28(2):32(1978)
 数種の甲虫の記録 宮本竜夫 28(2):24(1978)〔栗山, 日光〕
 栃木県産カミキリムシ第2報 鈴木洋一・大川秀雄 29(1):30-38(1978)〔116種を追加〕
 栃木県産カミキリムシ第3報 森島直哉・蓮尾篤・宮本竜夫 29(2):23-28(1978)〔30種追加〕
 赤城山のゴミムシⅠ 須田亨 30(1):38-49(1979)〔135種〕
 栗山村の甲虫の記録 宮本竜夫 30(1):52-53(1979)〔19種〕
 テレビ台を食べるカミキリムシ 田中正 30(1):53(1979)〔イエカミキリ〕

蜻蛉目

- ヤゴ 薄井和子 1(2):8-9(1948)

- トンボの標本製作法 富岡理 1(5):12(1948)
- アカネ属三種の垂直分布 藤田昌稔 1(5):13-14(1948)
- ミヤマアカネの交尾 加藤膳太 1(5):18(1948)
- シオカラトンボの交尾 武田正之 2(3):16(1949)
- サラサヤンマの記録 藤田昌稔 2(3):22(1949)〔塩原〕
- 南湖(白河)のトンボ 増淵余一 2(4):20(1949)
- 栃木県産主要蜻蛉目の発生期飛来時間に就て 広田泰丸 2(4):21-22(1949)
- 栃木県産イトトンボ類I 藤田昌稔 2(5):8(1949)〔7種〕
- 鏡沼にルリイトトンボ 藤田昌稔 2(5):14(1949)
- ホソミオツネトンボの産卵について 薄葉重 3(1):13(1950)
- 霧に追われて 片瀬隆司 4(2):14(1951)〔ナツアカネの移動〕
- ムカシトンボを溜水で飼育 薄葉重 6(2):12(1954)
- ベッコウトンボ, 宇都宮市鬼怒河原に多産 田中正 8(2):18(1957)
- 宇都宮附近のムカシトンボ 浅野勝司 8(2):18-19(1957)
- 宇都宮附近の本年度ムカシトンボ採集記録 山田剛朗 9(1):20-21(1958)
- クロスジギンヤンマ鬼怒川河原で採集 田中正 9(1):27(1958)
- ハラビロトンボ雌雄型採集 関口洋一 9(3):43(1958)〔柳田〕
- トンボ採集者へ 山田剛朗 10(1):6-7(1959)
- ムカシトンボ初採集 田中正 10(1):8(1959)〔細野ダム〕
- 赤麻沼付近のトンボ 長須房次郎 10(2):27(1959)〔5種〕
- ハッチョウトンボの新産地 野呂健 14(2):14(1964)〔宇都宮市〕
- 塩原で採集したアキアカネについて 長須房次郎 14(2):9(1964)
- 埼玉県北川辺村のトンボ 長須房次郎 15(1):10-12(1964)〔26種〕
- 埼玉県羽生市のトンボ 長須房次郎 15(2・3):7-9(1965)〔16種〕
- 群馬県板倉町のトンボについて 長須房次郎 15(2・3):9-10(1965)〔9種〕
- 那須野が原のトンボ目とその生態 第1報 加藤仁 16(2・3):1-6(1966)〔61種〕
- ハネビロエゾトンボ雌宇都宮で採集 田中正 17(2・3):25(1966)
- 栃木県産トンボ覚え書(1) 田中正 18(1):16-17(1967)
- 栃木県産トンボ採集ガイド 田中正 19(1):15-20(1968)
- 栃木県の自然 田中正 20(1):4(1969)
- 栃木県トンボ小史 田中正 20(1):4-5(1969)
- トンボ概説 田中正 20(1):5(1969)
- トンボの形態 田中正 20(1):6-9(1969)
- トンボの分類 田中正 20(1):10-12(1969)
- 生活史と生態 田中正 20(1):13-18(1969)
- 栃木県産トンボの解説 田中正・加藤仁・稲泉三丸 20(1):19-137(1969)〔87種〕

- トンボの変異 田中正 20(1):138-142(1969)
- 栃木県産トンボの分布 田中正 20(1):142-145(1969)
- 将来・栃木県で発見できそうな種類 田中正 20(1):145(1969)
- ヤマサナエがコサナエを撃墜 稲泉三丸 20(2):35(1969)
- ミルンヤンマの採集記録 稲泉三丸 20(2):36(1969)〔栗谷沢, 三斗小屋〕
- 氏家町のトンボについて 土屋喜一 20(2):36-37(1969)〔6種〕
- トンボ雑報 土屋喜一 20(2):37-38(1969)〔6種〕
- トンボ2種の採集記録 角田利二 21(1):34(1970)
- オジロサナエの新産地 川俣裕朗 21(1):34(1970)〔栗谷沢〕
- トンボの翅芽についての実験的研究 薄葉重 21(2):1-9(1970)
- 栃木県産トンボ2種追加 土屋喜一 21(2):10(1970)〔アオヤンマ, ネキトンボ〕
- ハッチョウトンボを日光で発見 尾田治徳 21(2):24(1970)
- ルリボシヤンマ宇都宮で採集 田中正 21(2):24(1970)
- ヤマサナエとキイロサナエの見分け方 土屋喜一 22(2):9-11(1971)
- ハッチョウトンボの日光における新産地 福田善明 22(2):28(1971)
- トンボの異種連結の1例 土屋喜一 22(2):29(1971)〔マユタテ♂×ミヤマアカネ♀〕
- ヤンマ数種の記録 福田健 22(2):29(1971)
- 黒羽町周辺のトンボ 角田利二 23(1):1-6(1972)〔56種〕
- オオトラフトンボを発見 稲泉三丸 24(2):27(1973)〔奥鬼怒〕
- 赤トンボの大群を目撃 稲葉博由・稲泉三丸 24(2):27-28(1973)
- ミルンヤンマの日光の記録 福田健 24(2):28(1973)
- 腹部の屈曲したトンボ2種の記録 福田健 24(2):28-29(1973)〔カワトンボ, ヒメアカネ〕
- 栗谷沢ダムでヒメクロサナエを採集 新海彰男 24(2):29(1973)
- マユタテアカネ雌異常型2例 小林文雄 25(1):23(1974)
- 埼玉県におけるオオモノサシトンボの新産地について 長須房次郎 25(1):23(1974)
- 東京のムカシトンボの記録 小林文雄 25(1):23(1974)〔奥多摩, 高尾〕
- オオエゾトンボ♀の記録 小林文雄 25(2):26(1974)〔矢板〕
- マユタテアカネ♀異常型の多産地 小林文雄 25(2):26(1974)〔矢板, 喜連川〕
- 千葉県鋸山でマルタンヤンマ目撃 小林文雄 25(2):26(1974)
- ホソミイトトンボを秩父地方で採集 小林文雄 26(1):39(1975)
- キイロサナエの採集記録 小林文雄 26(1):39(1975)〔宇都宮市〕
- 長野県で9月にマダラヤンマの羽化殻 小林文雄 26(1):39(1975)
- シオカラトンボ♀のシオカラ型 小林文雄 26(1):40(1975)
- ヤブヤンマ♀日光小倉山で発見 御厨正治 26(1):40(1975)
- アオヤンマ群馬県の天然記念物候補に 田中正 26(2):8(1975)
- 藤岡町南部の一湖沼における秋の興味あるトンボ 小林文雄 26(2):12-13(1975)〔6種〕

- ムカシトンボの新産地 塩山房男 26(2):34(1975)〔鹿沼, 黒磯〕
 マユタテアカネ赤化♀の記録 小林文雄 26(2):34(1975)〔矢板〕
 コバネアオトンボ静岡県下に多産 小林文雄 26(2):34(1975)
 日光でホソミオツネントンボ 福田健 26(2):34(1975)
 オニヤンマ高所での記録 小林文雄 26(2):35(1975)〔湯川1,400米〕
 腹部の曲ったリスアカネ 福田健 26(2):35(1975)
 セスジイトトンボ初網沼で採集 新海彰男 26(2):35(1975)
 マダラヤンマを初網沼で発見 小林文雄 27(2):20(1976)
 ヤブヤンマの羽化殻を採集 小林文雄 27(2):20(1976)〔初網沼〕
 宇都宮でベニイトトンボを採集 小林文雄 27(2):20(1976)
 オオトラフトンボを鬼怒沼で目撃 小林文雄 27(2):24(1976)
 シオカラトンボが畳に産卵 熊沢隆義 28(1):28-29(1977)
 藤岡町のオオキトンボ絶滅 小林文雄 28(1):29(1977)
 ハネピロトンボを宇都宮市で採集 小林文雄 28(1):29(1977)
 宇都宮市初網沼のトンボ数種について 小林文雄 28(2):25-26(1977)

膜翅目

- 面白い蜂・小さい蜂 長倉洋平 1(1):2(1948)
 コナラノイガフンにおける例外報告 薄葉重 1(2):6(1948)
 或るドロバチの巣 片瀬隆司 1(3):1(1948)
 オーホシオナガの産卵 長倉洋平 1(3):15(1948)
 アリの社会生活 諏訪キヌ 1(3):16-17(1948)
 アゲハヒメバチ 増淵余一 1(3):19(1948)
 ドロバチの一種に於ける室の大きさと♀との関係 薄葉重 1(3):20(1948)
 ヒメベッコウバチの飼育 薄葉重 1(4):10-11(1948)
 蜂類生態雑録 薄葉重 1(4):19-21(1943)〔4種〕
 ルリヂガバチの房室は再生されるか? 増淵余一 1(4):25-26(1948)
 ヲナガバチの一種の産卵 片瀬隆司 1(4):27(1948)
 狩人蜂の生態(1) 田中栄一 1(5):7-8(1948)〔オオシロフベッコウ〕
 フタスジズバチの生態 薄葉重 1(5):11-12(1948)
 クマバチの旧坑を利用せしオホハキリバチ 薄葉重 1(5):18(1948)
 栃木県産昆虫目録II 加藤啓太 2(1):3-9(1949)〔151種〕
 ハキリバチの本能 田中栄一 2(1):12-14(1949)
 岐阜県産膜翅目覚書 青木博道 2(1):15-17(1949)
 ルリヂガバチの生態 長倉洋平 2(1):18-21(1949)
 アカゴシベッコウの習性観察 河村重行 2(1):22-23(1949)

- 旧巢利用の蜂2種 薄葉重 2(1):24(1949)
- 冬の蜂採集手引 薄葉重 2(1):34(1949)
- 東京駒場で獲れた不明のヂガバチ 長倉洋平 2(2):15(1949)〔アメリカジガバチ〕
- 栃木県産昆虫目録, 膜翅目・追加 薄葉重 2(2):17-21(1949)〔32種〕
- 狩人蜂の生態(2) 田中栄一 2(3):9-11(1949)〔ベッコウバチ類〕
- ニッポンヒゲナガハナバチの造巢習性 薄葉重 2(3):12-14(1949)
- 狩人蜂の生態(3) 田中栄一 2(4):14-15(1949)〔トガリアナバチ〕
- キオビヒメハナバチの習性 薄葉重 2(4):24-26(1949)
- カマキリタマゴバチの寄生問答 田中栄一 2(5):1-3(1949)
- 岐阜県産膜翅目覚書II 青木博道 2(5):4-5(1949)
- ヒメベッコウバチの1種の習性 薄葉重 2(5):15-16(1949)
- トックリバチ 田中栄一 3(1):1-4(1950)
- 軽井沢にて得た数種の *Vesputa* に就いて 石川良輔 3(1):14-16(1950)〔クロスズメバチ類〕
- 軽井沢の蜂類相概観 石川良輔 4(1):1-10(1951)
- 栃木県産の *Osmia* 属 薄葉重 4(1):10(1951)〔4種〕
- ツヤドロバチモドキの習性 薄葉重 4(1):14-21(1951)
- 懸垂姿勢2題 薄葉重 4(1):21(1951)
- 鬼怒川探蜂記 田中栄一 4(2):15-18(1951)〔4種〕
- ギングチバチの一種 *Coelocrabro cetratus* の習性について 田中栄一 5(1):5-6(1952?)
- 蜂の斗争 中村和夫 5(1):8(1952?)
- 栃木県の銀口蜂 田中栄一 6(1):13-16(1954)〔43種〕
- Variation の問題 田中栄一 6(2):13-16(1954)
- フタスジズバチの習性 中村和夫 6(2):39-42(1954)
- 日本産ギングチバチの和名について 薄葉重 6(3):4-6(1955)
- クリタマバチも栃木県に侵入 熊沢隆義 7(1):17(1956)
- ジガバチのかんさつ 石川矩子 8(1):12-16(1957)
- ミツバチに見られる3異蜂の出現 青木宏夫 8(2):5-6(1957)
- 蜂の採集法 田中栄一 8(2):7-8(1957)
- 狩人蜂における仮貯蔵の問題 田中栄一 9(3):10-11(1958)
- ミカドドロバチの巣の観察 熊沢幸枝・熊沢隆義 9(3):22-25(1958)
- 思い出の蜂2種 田中栄一 9(3):15-16(1958)
- ズメバチを“はやにえ”にするモズ 田中正 9(3):44(1958)
- ヤセバチ雑記 福田南海男 11(3):15(1960)
- ズメバチの襲来 芳川陽二 15(2・3):10-11(1965)
- セグロアシナガバチ, モンシロチョウ成虫を捕える 芳川陽二 15(2・3):11(1965)
- アシナガバチ類の巣の色について 芳川陽二 15(2・3):11-12(1965)

- コマユバチ雑記 芳川陽二 15(2・3):12(1965)
 アリバチの発音研究 芳川陽二 15(2・3):12-13(1965)〔ヒトホシアリバチ〕
 タマバチ雑記 芳川陽二 16(2・3):18(1966)
 擬死について 芳川陽二 16(2・3):18-19(1966)〔ヒトホシアリバチ〕
 コマルハナバチおよびトラマルハナバチ巢の観察 片山栄助 17(2・3):1-6(1966)
 ワタセハリアリを採集 大沢守一 17(2・3):24-25(1966)〔宇都宮〕
 クロヤマアリの一習性 芳川陽二 17(2・3):25(1966)
 栃木県におけるコンボウハバチ類の分布と生態 福田南海男 18(2):3-14(1968)
 アリの生活 大沢守一 19(1):9-14(1968)
 栃木県産アリ類目録 大沢守一 21(1):1-11(1970)〔44種〕
 日本のマルハナバチ相について 片山栄助 25(1):1-6(1974)〔21種〕
 ウスリーマルハナバチの栃木県での採集記録 片山栄助 26(2):33(1975)
 オオハリアリ人を刺す 田中正 29(2):34(1978)

直 翅 目

- ウスイロコホロギの観察 薄葉重 1(1):4-5(1948)
 卵を産むのを忘れたお母さん 増淵余一 1(3):13-14(1948)〔ダイミョウバッタ〕
 トビナナフシの記号 藤田昌稔 2(3):22(1949)
 ガロアムシ関谷にて採集 藤田昌稔 2(4):2(1949)
 コバネイナゴの生態的研究 加藤仁 6(2):1-11(1954)
 世界的珍虫ガロアムシとはどんな虫か 田中正 8(3・4):1-4(1957)
 ガロアムシを日光霧降の滝で採集 田中正 9(1):26(1958)
 ガロアムシのかんさつ 石川矩子 9(3):25-30(1958)
 カマキリが蛙を食べる 熊沢隆義 9(3):43(1958)
 ガロアムシ幼虫を古賀志山で採集 田中正 10(1):8(1959)
 益子でオオゴキブリを採集 浅野勝司 10(2):27(1959)
 水道山(宇都宮市)でガロアムシ採集 斎藤浩一 12(2):30-31(1961)
 クビキリギリスに見られる体色の多型と雌雄との関係 雌雄型についての報告 田中正 13(2):22-24(1963)
 船生でオオゴキブリを採集 早川宏明 15(2・3):17(1965)
 ナナフシの一種(*Phraortes* sp.)について 稲泉三丸 16(2・3):19-20(1966)〔湯西川〕
 オオゴキブリを宮城県金華山で採集 桜谷保之 18(2):16(1968)
 塩原元湯にてガロアムシ採集 河内俊英 19(2):8(1968)
 足利市にて産するガロアムシ 大川秀雄 20(2):38(1969)
 トビナナフシ雨巻山で採集 田中正 21(2):27(1970)
 足利市のガロアムシ 大川秀雄 23(1):7-9(1972)

ガロアムシ葛生町の洞穴に産する 大川秀雄 24(1):24(1973)
筑波山でオオゴキブリ 添野光一 25(1):24(1974)
トビナフシの記録 福田健 26(2):36(1975)〔日光〕
エゾエンマコオロギ渡良瀬川に産する 大川秀雄 26(2):36(1975)
足利市に産するアオマツムシについて 大川秀雄・須田亨 27(2):32(1976)
ウマオイの鳴き方 熊沢隆義 28(2):1-5(1978)
シブイロカヤキリモドキ群馬県での記録 須田亨 30(1):50(1979)

半翅目

寄生 加藤勝太 1(3):6(1948)〔アブラムシの天敵〕
エゾゼミとクマゼミの学名に就て 加藤正世 1(4):3-4(1948)
蟬の初音 加藤勝太 1(4):4(1948)
セミの産卵 加藤勝太 1(5):9-10(1948)
アカスジキンカメの食性? 薄葉久 2(4):29(1949)
アブラゼミ・ツクツクボウシ, 燈火にて採集 増渕余一 2(5):3(1949)
キイロサシガメの燈火飛来と発音 薄葉重 2(5):11(1949)
アブラゼミ・ニイニイゼミ, 青色誘蛾灯に飛来 尾田治徳 3(1):32(1950)
クマゼミ, 宇都宮に産するか? 田中正 6(2):44-45(1954)
アカスジキンカメムシの飼育例 田中正 7(2):7(1956)〔タマアジサイ〕
栃木県のセミ 八木沢勝太 8(1):4-6(1957)〔11種〕
おもしろいアブラムシの生活 田中正 9(1):8-13(1958)
アブラムシが寄生しない植物 田中正 11(1):10(1960)
モモアカアブラムシの異常寄生 田中正 11(1):22(1960)
エゾゼミの基産地 加藤正世 14(2):5(1964)〔宇都宮市新里〕
宇都宮市内でチッチゼミを採集 田中均 20(2):38(1969)
冬季に採集したカメムシ 稲泉三丸 21(1):33-34(1970)〔10種〕
ルリクチブトカメムシ, カミナリハムシを捕える 田中正 21(2):26-27(1970)
栃木県のカメムシ類(第1報) 加藤仁 22(1):13-26(1971)〔115種〕
栃木県のカメムシ類(第2報) 加藤仁 22(2):5-7(1971)〔16種〕
栃木県産陸生カメムシ類(第3報) 加藤仁 25(2):12-13(1974)〔18種〕
アカスジキンカメが梨果を加害 熊沢隆義 28(1):26(1977)
栃木県内のハルゼミの分布 田中正 29(1):1-4(1978)
猛暑, 宇都宮にクマゼミ鳴く 高橋滋・田中正・稲泉三丸 29(2):34(1978)
宇都宮でアブラゼミ多発 熊沢隆義 29(2):35(1978)
今市高校周辺におけるアメンボ類4種の分布について 園部力雄 30(1):29-32(1979)

双翅目

- ヨシノメバエ No.1. 加藤膳太 1(2):10(1948)
栃木県産昆虫目録 加藤膳太 1(4):5-10(1948)〔104種〕
ヨシノメバエの羽化 加藤膳太 1(4):9-10(1948)
アカイエカの産卵に関する研究 植木長太郎 3(1):24-26(1950)
メスアカケバエ幼虫の集団越冬 田中正 16(2・3):19(1966)
クロマトイの大発生 田中正 21(2):27(1970)
ユスリカの一種の日周活動について 田中正 24(1):25-26(1973)
イワツバメシラミバエ那須で採集 田中正 24(2):30-31(1973)
虫えい雑記I 薄葉重 30(1):7-13(1979)〔16〕

その他の昆虫

- 余り知られていない変わった虫「スリップス」 田中正 7(1):4-8(1956)
カワグラ類と人間との利害関係 河野光子 13(1):15-17(1962)
アミメカゲロウの大量発生 塩山房男 29(2):1-6(1978)〔宇都宮〕

二目以上に及ぶもの

- 虫日記 河村重行 1(1):7(1948)
生物ごよみ 藤田昌稔 1(2):7(1948)
石の下の虫たち 薄葉重 1(2):11-12(1948)
蟻とネアブラムシとの共生 薄葉重 1(3):2(1948)
昆虫数種の生態雑録 河村重行 1(3):7-8(1948)
運命の蜂 薄葉重 1(3):12-13(1948)
虫雑記2題 増淵余一 2(2):13-15(1949)
めずらしい虫えい 加藤膳太 2(2):16(1949)
冬の黒板 田中栄一 2(2):22-23(1949)
初見集・2 著者不詳 2(3):14(1949)
モチツツヂの萼に粘着した昆虫 薄葉久 3(1):26(1950)
冬季採集の獲物 武田正之 3(1):31-32(1950)
チョウ・ガ3題 益子正明 8(2):15-16(1957)
宇都宮市今泉町における今年の動物季節メモ 熊沢隆義 9(1):28(1958)
今泉町動物季節 T. K生(熊沢隆義) 9(3):43(1958)
安蘇郡・佐野市を貫流する秋山川・野上川の冬の水棲昆虫 三井和幸 11(3):16-25(1960)
ある朝の記録 斎藤浩一 12(1):23(1961)
1962年に話題になった昆虫(2) 田中正 13(2):24(1963)〔アメリカシロヒトリ他〕
那須の昆虫3種 小倉康夫 19(2):7-8(1968)

- クロコムラサキとムカシトンボが残った 宇都宮市で天然記念物指定へ 稲泉三丸 24(1):23(1973)
- 多気山で採れた興味ある昆虫 福島秀毅 25(2):24(1974)
- 虫の結婚 — その後 — 熊沢隆義 27(1):16-20(1976)〔16種〕
- 日光湯川における底生動物相 塩山房男 27(2):1-6(1976)
- 虫の結婚 — その後 — 2 熊沢隆義 27(2):21-24(1976)〔7種〕
- ウドの花に集まる昆虫 熊沢隆義 27(2):25(1976)〔65種〕
- 松食い虫防除のための殺虫剤空中散布と問題点 田中正 28(1):11-22(1977)
- 栃木市での昆虫数種の観察 桜井浩 28(1):28-29(1977)
- 虫の結婚 — その後 — 3 熊沢隆義 28(2):27-32(1978)〔14種〕
- 1977年の宇都宮市における昆虫類の終見日(終鳴日) 熊沢隆義 28(2):35(1978)
- ウドの花に集まる昆虫 第2報 熊沢隆義 29(1):24-26(1978)〔計120種〕
- 草地の昆虫 内藤篤 29(1):27-29(1978)
- 1978年の我が家の不思議 熊沢隆義 29(1):44-45(1978)
- 虫の結婚 — その後 — 4 札幌の巻 熊沢隆義 29(2):18-22(1978)〔17種〕
- 虫の結婚 — その後 — 5 熊沢隆義 30(1):33-37(1979)〔11種〕

クモ

- オニグモの網の張り方 津田公男 14(2):6-8(1964)
- カネコトタテグモ属の越冬について 浜村徹三 16(2・3):12-14(1966)
- 奥日光でシロタマヒメグモ採集 浜村徹三 18(1):20(1967)
- 安蘇郡における鍾乳洞の蜘蛛 斎藤博 24(1):19-21(1973)〔11種〕
- カネコトタテグモの県南からの記録 斎藤博 24(2):31(1973)
- 微小クモ3種の記録 斎藤博 25(1):12-14(1974)
- ギョウジャグモの記録 斎藤博・堀内一男 26(1):30-31(1975)〔奥日光〕
- 栃木県産サラ・コサラグモに就いて(1) 斎藤博 26(2):14-18(1975)
- ワスレナグモの記録 斎藤博・相良淳一 28(1):10(1977)

動物

- 栃木県産淡水魚目録 長嶋金一 1(2):4-5(1948)〔45種〕
- 再生 滝田佳枝 1(4):17-18(1948)〔ミミズ〕
- 原生動物 林作子 2(1):31-33(1949)
- 野鳥を観察する, 野鳥を写す 清榎幸保 7(1):1-2(1956)
- ニッコウサンショウウオに就て 篠崎尙次 7(2):1-2(1956)
- 栃木県下のチョウゲンボウの新繁殖地 清榎幸保 7(2):2-3(1956)〔矢板〕
- 動物の生態を利用した天気予報 田中正 7(2):5-6(1956)
- クロヒメヤスデ, 奥日光で採集す 田中正 8(1):23(1957)

- コルリの雄の雛 清棲幸保 8(2):とびら(1957)
 プラナリアの再生 木村進 9(2):15-16(1958)
 1959年の初見・初鳴 熊沢隆義 10(1):8(1959)
 サンショウウオ雑記 山崎治行 10(3):21-22(1959)
 クマゲラの育雛 清棲幸保 11(3):1(1960)
 サンショウウオ第1報 赤羽記念 11(3):36-40(1960)
 安蘇郡・佐野市におけるサンショウウオの分布と生態 三井和幸 12(2):6-15(1961)
 クマとトラ T. T生(田中正) 13(1):20(1962)
 サンショウウオ科幼生の平行桿消失とその再生能 三井和幸 13(2):1-14(1963)
 奄美のハブ 関口洋一 13(2):38(1963)
 陸の貝 本野晃 16(1):9-16(1965)〔55種〕
 箒川水系付近に分布する非海産貝類の流水による移動 加藤仁 17(1):18-24(1966)〔56種〕
 栃木県北部の非海産貝類目録とその解説 加藤仁 17(2・3):7-20(1966)〔88種〕
 栃木県北部の非海産貝類とその解説(第2報) 加藤仁 18(1):7-15(1967)〔追加27種〕
 塩原元湯にてヤマネを採集 大沢守一 19(2):8(1968)
 戻ってきたカメ 田中正 20(2):31(1969)
 モクズガニを宇都宮市内で採集 田中正 20(2):38(1969)
 大阪府貝塚市付近動物方言覚書 御厨正治 22(1):42(1971)
 サンショウウオの新産地 長谷川順一 23(1):14-15(1972)〔那須〕
 ミスジマイマイとヒタチマイマイに関する諸問題 本野晃・熊沢隆義 27(1):21-23(1976)
 冬の鬼怒川(宇都宮市)でとれた魚類 稲泉三丸 28(1):30(1977)〔6種〕
 栃木県のタゴガエルの産地 長谷川順一 29(1):39-40(1978)〔日光〕
 宇都宮市内にヤモリ定着か 稲泉三丸 29(1):44(1978)
 栃木県奥塩原溪谷のタゴガエル 西山隆 29(2):29-30(1978)

採集紀行(二目以上)

- 東京での採集地 長倉洋平 1(1):7(1948)
 春の採集会の一日 増淵余一 1(3):4-5(1948)
 高館付近の採集 田中栄一 1(4):15(1948)
 二度上付近採集記 山尾義豊 2(1):26-28(1949)〔群馬〕
 葉山採集記録 渡辺和久 2(1):29-30(1949)
 和歌山県昆虫便り 乾風登 2(3):19-20(1949)
 和歌山県昆虫便りII 後藤伸 2(4):28(1949)
 和歌山県昆虫便りIII 後藤伸 2(5):10-11(1949)
 栃木県での採集の思い出 磐瀬太郎 3(1):30-31(1950)
 奥日光鬼怒沼の昆虫 尾田治徳 4(2):5-14(1951)

益子, 高館山採集会報告 田中正 7(1):16-17(1956)
我が台湾動物記 田中正 7(2):13-20(1956)
塩原方面野鳥生態観察及び昆虫採集記 田中正 7(2):20-21(1956)
栃木県での採集の思い出 磐瀬太郎 7(3):15-16(1956)
湯西川採集行 36 サンチ, 30 サンチ(武田正之・中村和夫) 8(2):8-11(1957)
ぼくのさいしゅうにっき 田中均 8(3・4):17(1957)
氷室付近の採集記 吉井太門 8(3・4):22-23(1957)
飯豊山採集記 浅野勝司・下司昌一 9(2):21-26(1958)
霧に降られた裏見(恨)の採集会 尾田治徳 9(2):26-27(1958)
加賀白山の紹介 常木勝次 9(3):7-9(1958)
川治採集報告 山田剛朗 10(2):27-28(1959)
大雪山紀行 下司昌一 10(3):16-20(1959)
アメリカの旅のまにまに 熊沢隆義 11(2):1-5(1960)
奄美大島採集行(I) 田中正・樋口弘道・関口洋一 13(1):1-15(1962)
奄美大島採集行(II) 田中正・樋口弘道・関口洋一 13(2):25-43(1963)
小笠原の自然とその保護 田中正・樋口弘道・合田健二 22(2):19-26(1971)
アメリカ西部の自然みてあるき 田中正 30(1):1-6(1979)

解説・ガイドなど

擬態 藤田昌稔 1(1):2(1948)
知識は自然から 増淵余一 1(2):1-2(1948)
食べられる虫 河村重行 1(3):9-12(1948)
初夏観察の手引 増淵余一 1(3):10(1948)
昆虫の先祖調べ 諏訪武夫 1(3):16-17(1948)
夏休みと昆虫観察 編集室 1(4):1-2(1948)
昆虫の護身法 増淵余一 1(4):13-15(1948)
冬の昆虫 青木忠雄 1(5):1-4(1948)
他山の石 加藤正世 2(1):1-2(1949)
寄生の寄生 長倉洋平 2(1):2(1949)
研究ガイド 4・5月の巻 編集室 2(2):1-2(1949)
研究ガイド 6・7月の巻 編集部 2(3):1-2(1949)
研究ガイド 9・10月の巻 編集部 2(4):1-2(1949)
殺虫剤余話 尾田治徳 4(1):24-26(1951)
“寄主植物”という言葉 田中正 6(3):1-3(1955)
鞘翅目及び半翅目の体軀記載標準 尾田治徳 6(3):11-14(1955)
機関誌の発刊に寄せて 鍋木外岐雄 7(1):1(1956)

- 採集と観察と 熊沢隆義 7(1):9(1956)
昆虫と切手 熊沢隆義 7(1):14-16(1956)
乾燥幼虫標本の作り方 田中正 7(2):12-13(1956)
あの頃の宇都宮の虫仲間 常木勝次 8(1):6-9(1957)
小学生のみなさん、甲虫を集めてみませんか? 尾田啓一 8(1):19-20(1957)
宇都宮市保護指定昆虫2種 田中正 8(2):11-12(1957)〔シルビアシジミ、ハッチョウトンボ〕
採集余話 尾田治徳 8(3・4):7-9(1957)
庭の中から 阿久津喜作 8(3・4):9-10(1957)
昆虫のホルモン 岩下嘉光 9(2):5-8(1958)
昆虫愛好会10年の歩みをたたえて 鏑木外岐雄 9(3):1(1958)
愛好会の大田原時代 薄葉重 9(3):2-4(1958)
最近の昆虫愛好会 田中正 9(3):4-5(1958)
ふるさとの思い出 加藤正世 9(3):6-7(1958)
昆虫の発音 ハスケル(山崎睦男訳) 9(3):33-37(1958)
第3回昆虫展楽屋裏雑記 尾田啓一 9(3):37-38(1958)
昆虫展だより 関口洋一 9(3):40(1958)
理科展雑感 下司昌一 10(1):9(1959)
“くそ”に集まる昆虫とその採集法 田中正 10(2):17-18(1959)
最近における昆虫関係の出版状況 田中正 10(2):24-25(1959)
昆虫の種にかんする諸問題 田中正 11(1):1-10(1960)
国立公園内の昆虫採集 田中正 11(2):6(1960)
動物学名命名についてのお知らせ 動物学命名法小委員会 11(2):15-16(1960)
「昆虫」という文字 田中正 12(3):5(1961)
どんな虫がお好きですか 著者不詳 15(1):9(1964)
故前会長鏑木外岐雄先生を偲ぶ 田中正 18(2):1(1968)
昆虫愛好会会長になるにあたって 田中正 18(2):2(1968)
自然保護と天然記念物 稲泉三丸 20(2):20-25(1969)
栃木県の天然記念物としての動物とその保護対策 田中正 20(2):26-31(1969)
昆虫の学名と和名 田中正 21(2):20-22(1970)
日光の自然を守ろう 稲泉三丸 21(1):25-31(1970)
栃木県の釣り餌虫と当世寸想 稲泉三丸 22(1):2-7(1971)
虫屋からの自然保護論を 合田健二 22(2):16-18(1971)
県内にプロの虫屋一挙に倍増 田中正 23(2):23(1972)
最近、日光を訪れた外国の昆虫学者達 田中正 23(2):28(1972)
昆虫保存館その後 日向博美 24(2):18(1972)
いかもの食い 稲泉三丸 25(1):6(1973)
竣工なった昆虫保存館 日向博美 25(1):15-17(1973)